

平成19年度

大規模  
つなみ

# 津波

## 防災総合訓練

訓練  
実施日

平成19年7月29日  
午前9:00~12:00

訓練  
実施場所

【メイン会場】  
気仙沼市気仙沼港  
【サテライト会場】  
石巻市石巻港

### プログラム(メイン会場)

9:00~9:50

#### 訓練第1部 (大津波警報発令中の訓練)

地震発生から津波警報「大津波」の情報伝達、住民の避難、情報収集等の訓練

9:50~10:00

#### 開会式

挨拶：国土交通大臣、宮城県知事、気仙沼市長

10:00~11:50

#### 訓練第2部 (大津波警報解除後の訓練)

津波警報「大津波」解除を受け、各機関による救助、緊急輸送、復旧などの訓練

11:50~12:00

#### 閉会式

挨拶：内閣府防災担当大臣、国土交通省 東北地方整備局長

9:00  
~  
12:00

災害対策車等  
展示コーナー

【主催】国土交通省 【協賛】内閣府

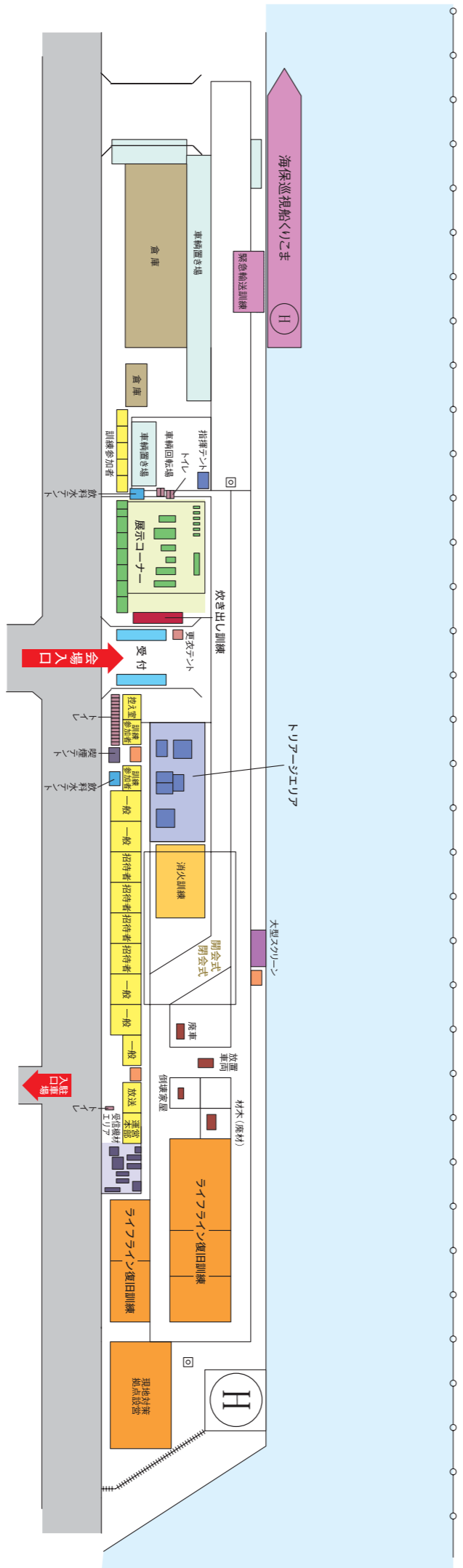
【後援】(順不同)

(財)国土技術研究センター、(財)河川情報センター、(社)日本河川協会、(社)全国海岸協会、(社)全国防災協会、全国水防管理団体連合会、(財)道路保全技術センター、(財)沿岸技術研究センター、(社)日本港湾協会、(財)港湾空港建設技術サービスセンター、(財)海上保安協会、(社)日本水難救済会、(財)気象業務支援センター、(財)日本気象協会、(社)日本測量協会、(社)東北建設協会、東北六県トラック協会連合会、(社)宮城県トラック協会

【参加機関】(順不同)

東北地方整備局、北陸地方整備局、東北管区警察局、仙台管区气象台、第二管区海上保安本部、陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊、東北地方測量部、仙台防衛施設局、東北総合通信局、東北財務局、東北厚生局、宮城労働局、東北農政局、東北森林管理局、東北経済産業局、北海道開発局、東北運輸局、東京航空局仙台空港事務所、関東東北産業保安監督部東北支部、青森県、岩手県、秋田県、山形県、宮城県、福島県、仙台市、宮城県警察本部、山形県警察本部、気仙沼市・石巻市を含む沿岸市町、日本赤十字社宮城県支部、東日本電信電話株式会社宮城支店、東北電力株式会社、株式会社NTTドコモ東北、日本郵政公社東北支社、日本銀行仙台支店、日本放送協会仙台放送局、東日本高速道路株式会社東北支社、(独)日本原子力研究開発機構、東日本旅客鉄道株式会社仙台支社、東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社、日本貨物鉄道株式会社東北支社、日本通運株式会社仙台支店、KDDI株式会社東北総支社、気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部、(社)日本自動車連盟宮城支部(JAF)、(社)日本理立浸漬協会東北支部、(社)日本海上起重技術協会東北支部、東北港湾空港建設協会連合会、(社)宮城県トラック協会、(社)日本土木工業協会東北支部、(社)日本道路建設業協会東北支部、(NPO法人)みやぎ災害救援ボランティアセンター、(社)宮城県建設業協会、東北大学、岩手大学等

### 会場全体図



### 東北地方 太平洋沿岸のおもな津波による被害

発生日	地震名	概況
明治29年 6月15日(1896)	明治三陸地震津波	【M8.25】津波が北海道より牡鹿半島にいたる海岸に襲来。死者21,959人、家屋流失全半壊1万戸以上。
昭和8年 3月3日(1933)	昭和三陸地震津波	【M8.1】津波が太平洋を襲い三陸海岸で被害は甚大。死者・不明者3,064人、家屋流失4,034戸、倒壊1,817戸、浸水4,018戸。
昭和35年 5月23日(1960)	チリ地震津波	【M8.5】日本全体で死者・不明者142人、家屋全壊1,500戸余、半壊2,000戸余。



昭和三陸津波後の宮古市(旧田老町)



チリ地震津波後の気仙沼市



# プログラム PROGRAM

## 平成19年 大規模 津波 防災 総合訓練 つなみ

解説者：  
東北大学大学院工学研究科附属災害制御研究センター教授  
今村 文彦氏

### 訓練の目的

今後30年以内に99%の確率で発生するといわれている宮城県沖の地震や、明治三陸型の地震など日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震は、甚大な被害が出ると想定されています。これらの地震津波による被害の軽減を目指して、大規模津波防災総合訓練を行います。

訓練は、住民の避難訓練、地震津波情報の収集・伝達、漂流者救助・救急、応急復旧、物資輸送訓練等を沿岸地域住民と防災関係団体・機関が協力、連携し実施します。

